

自己点検・自己評価報告書

学校法人 高村育英会
国際観光専門学校熱海校

令和元年 5月8日作成

学校の教育理念・目的

《 理念・目的 》

- ☆ 学校法人高村育英会は、観光・医療・ペットビジネスの夫々の業界で「人にしかできないことを身に付ける」を教育目的とする。そのために何よりも大切な「心からのおもてなしの精神を育むこと」を建学の精神とし、「3つの教育理念」を実践することによって「3つの信頼」を掴み取ることを目指している。

この理念の遂行の為、理事及び教職員の一人一人が地道な努力を続けることが重要である。次に「学校の特色」については、総合学科として「ホテル」「ブライダル」「トラベル」「トランスポート」「エアポート」の全ての内容を学び、サービスマナー及び働き方を身に付けることができる。この教育内容を学ぶ制度として、ホテル委託奨学生制度を設け、寮施設の準備のあるホテル・旅館で接客実務研修を積みながら2年間勉学に励むことができる。併せて、首都圏のホテル等におけるインターンシップ制度を取り入れ、ホテル委託奨学生以外の学生の実務能力アップを目指している。

校訓 「情熱教育 厳格教育 個別教育」

3つの教育理念

人を育てる 〔人間教育〕	現場力を育む 〔実践教育〕	世界を視野に 〔国際人教育〕
将来、社会から必要とされる人材になるよう豊な人間性を持つ人材を育成します。	どの業界どの企業からも嘱望される知識と行動力を兼ね備えた人材を育成します。	日本と世界を知り INTERNATIONAL の名にふさわしい国際的感性を育成します。

3つの信頼

学生からの信頼	保護者・出身校からの信頼	社会からの信頼
将来「本校で学んで良かった」と感謝されるよう、学びの環境を向上させています。	学生の大いなる成長と飛躍によって信頼を得られるよう良好な学校運営を図っています。	輩出した卒業生の活躍によって、社会から高く評価されるよう、質の高い人材育成に努めています。

点検項目別評価表

1. 教育理念・目的・育成人材像等

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
①理念目的・教育人材像は定められているか	(4) 3 2 1
②学校の特色は何か	(4) 3 2 1
③学校の将来構想を抱いているか	(4) 3 2 1

〔現状と課題〕

- ①教育理念については、不变のものとして定着しており、それを追行するための指針を毎年度ごとに策定している。
- ②「国際」の冠が示す通り、留学生を積極的に受け入れ、日本人学生との交流を図りながら「働き方を学ぶ学校」として定着している。
- ③「学校創立50周年式典」を実施し、卒業生との連携、教育施設・環境の充実を図っている。

2. 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
①運営方針は定められているか	④ 3 2 1
②事業計画は定められているか	④ 3 2 1
③人事や賃金での処遇に関する制度は整備されているか	④ 3 2 1
④運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか	④ 3 2 1
⑤意思決定システムは確立されているか	④ 3 2 1
⑥情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④ 3 2 1

〔現状と課題〕

- ①②「運営方針」「各校の事業計画」は理事会・評議員会で議決されたものを運営方針・事業計画として定め教育活動を行っている。
- ③学校法人の就業規程に、その処遇については明記されており、よく整備され機能している。今年度、賃金規定が改正された。
- ④学校法人の組織・意思決定機関は、「理事会」「評議委員会」「校長会議」とそれぞれが効率よく機能している。
- ⑤評議委員会・理事会と法人の意思決定システムは確立している。
- ⑥職場内のパソコンによる情報共有については、問題なく機能している。

点検項目別評価表

3. 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
①学科の教育目標、教育人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向け、方向つけられているか	④ 3 2 1
②学科の教育目標、育成人材像を構成する知識、技術、人間性等は、業界の人材ニーズレベルに照らし、また学科の教育期間を勘案して、到達することが可能なレベルとして明確に定められているか	④ 3 2 1
③カリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
④学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置づけをされているか	④ 3 2 1
⑤授業評価の実施・評価体系はあるか	④ 3 2 1
⑥育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④ 3 2 1
⑦成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
⑧資格取得の指導体制はあるか	④ 3 2 1
⑨生涯学習に対して積極的に取り組んでいるか	4 ③ 2 1
⑩付帯教育授業に対する取り組みの組織・体制は明確になっているか	4 ③ 2 1

〔現状と課題〕

- ①働き方を学ぶ学校としての存在意義を考えるうえで、自ずと自らの役割は認識できている。
- ②職業人としてのマナー教育・人間教育に力点を置き、スタートからの3年間で存在価値が明確に表れるような目標を立てている。
- ③観光業全般を目指す総合学科として、「ホテル」「ブライダル」「トラベル」「トランスポート」「エアポート」と大きく5分野についての人材育成のためカリキュラムを編成している。
- ④資格取得対策授業と職業実践のための授業及び、人間教育に係る内容がバランスよく学べるカリキュラム編成である。
- ⑤学生アンケート内容を、教員にフィードバックして個人及び学校全体で研究研修を実施している。
- ⑥常勤・非常勤ともに目標必達のために業界の歴史と伝統をはじめ、最新の情報を伝達することができる教員を確保している。
- ⑦学生便覧の中で、1履修要項に授業評価、評価体系について明確に標記している。
- ⑧国家資格取得を最重要課題として、目標資格・選択資格を区別し指導を実施している。
- ⑨卒業後に、文化活動・スポーツ活動・レクリエーション活動・ボランティア活動等を通じて生涯に渡って、生き生きした生活を送ることに対しての指導は若干不足しているので、ホームルーム活動を通して生涯学習の大切さの啓蒙を図って行く。
- ⑩付帯教育事業に対しては、大学編入希望者が出て実績に繋がっている。

点検項目別評価表

〔改善のための方策〕

⑨自分の現状をよく把握して、問題点を明確にし、生涯を通じて学習活動を継続していくことの重要性を理解させる教育を実践する。

4. 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
①就職に関する目標を達成したか	④ 3 2 1
②資格取得に関する目標を達成したか	4 ③ 2 1
③退学率の低減に関する目標を達成したか	4 3 ② 1
④卒業生・在校生は社会で活躍し、評価を得ているか	4 ③ 2 1

〔現状と課題〕

- ①就職率は100%を達成した。2020年以降の求人状況を予想しながら、観光業界以外の方向性や可能性を模索していく時期に来ていると考えている。
- ②国家試験、特にレストランサービス技能検定3級について、22名中20名が合格し職業人として業界に送り出すことができた。
- ③「退学者ゼロ」が毎年の目標であるが、数は減少しているがゼロではなかった。
- ④離職率も低下しており、各企業における「最低3年努力する。そして次の3年。」を合言葉に皆、努力している。

〔改善のための方策〕

- ③入学前指導の充実と学生の満足度向上のため教務力の増大を図ること。

5. 学生活動支援

評 価 項 目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
①就職・進学指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか	(4) 3 2 1
②学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか	(4) 3 2 1
③学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能しているか	(4) 3 2 1
④学生の健康管理を担う組織体制があるり、有効に機能しているか	(4) 3 2 1
⑤課外活動に対する支援体制は整備され、有効に機能しているか	(4) 3 2 1
⑥学生寮、学生の生活環境への支援は行われているか	(4) 3 2 1
⑦保護者と適切に連携しているか	(4) 3 2 1
⑧卒業生への支援体制はあるか	(4) 3 2 1

〔現状と課題〕

- ①就職課担当・担任による「就職ガイド」「ホームルーム」を中心に、まず全体指導を行い、個別面談・面接練習を実施し支援体制を整えている。
- ②クラス担任がクラス運営に当たっている。その体制は有効かつ効率的に機能している。
- ③学校法人高村育英会修学支援制度・ホテル委託奨学生制度・日本学生支援機構・オリエントコーポレーション等の支援制度を導入している。
- ④全学生が4月の健康診断を実施している。その上で、問題があつた学生に対しては再検査・学校医による治療等の指示を行い健康管理には万全を期している。
- ⑤学生自治会を中心に、球技大会・BBQ大会・バス遠足等を企画運営し、放課後の音楽倶楽部を中心に課外活動を実施している。
- ⑥ホテル委託奨学生(企業研修)については、各企業の社員寮を提供している。学校が運営している学生寮はないので、市内の学生用アパート等を紹介している。
- ⑦定期的な出席状況報告書と定期試験結果報告書を送付している。その他、必要に応じて相談・報告を行っている。
- ⑧同窓会などの実施をできる限り援助しているとともに、学校創立50周年を契機により活発な同窓会活動を学校の支援で作り上げている。

6. 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
①施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 ③ 2 1
②学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④ 3 2 1
③防災に対する体制は整備されているか	④ 3 2 1

〔現状と課題〕

- ①本校の教育内容上、必要な施設・設備は最低限度整備されている。
- ②首都圏を中心とした空港・旅行代理店・ホテル・ブライダル等の関係企業へのインターンシップ参加が可能な状況である。
- ③耐震補強工事も完了し、毎年の防災訓練の実施と非常用飲料水・非常食・簡易防寒防水ブランケット・非常用トイレの準備をしている。

〔改善のための方策〕

- ③相模湾沿いの立地条件に対する津波対策を確立する。避難訓練の実施による一時避難地の確認を行う。

点検項目別評価表

7. 学生受入れ

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
①学生募集活動は、適正に行われているか	(4) 3 2 1
②就職実績、資格取得実績、卒業生の活躍の教育成果は、学生募集に貢献したか	(4) 3 2 1
③入学選考は、適正かつ公正な基準に基づき行われているか	(4) 3 2 1
④学納金は妥当なものとなっているか	(4) 3 2 1

〔現状と課題〕

- ①一日体験入学の開催(11回)及び会場・校内ガイダンスへの参加・高校訪問並びに東部地区専門学校4校で「熱海・三島専門学校連絡協議会」を設置し、募集活動を行っている。
- ②在校生の資格取得状況・就職活動状況・卒業生の就職実績、企業での活躍状況等正確に伝えている。
- ③指定校推薦、AO入試、一般入試(作文試験・面接試験)を実施している。
- ④同分野の他の専門学校と比較しても低額にて、充実した教育内容になっている。

点検項目別評価表

8. 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
①中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④ 3 2 1
②予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④ 3 2 1
③財務について会計監査が適正に行われているか	④ 3 2 1
④財務情報公開の体制整備はできているか	④ 3 2 1

〔現状と課題〕

- ①学校創立50周年を迎えるにあたり、全校的な学生数は安定しており財務基盤は問題なく安定している。
- ②評議委員会・理事会において認められた予算であるが、一層の学生数増大を目指し安定化を図りたい。
- ③2名の監事によって、毎年度適切に行われている。
- ④ホームページ上にて「自己点検・自己評価」「学校関係者評価」「財務関係」報告書を公開している。

点検項目別評価表

9. 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
①法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	(4) 3 2 1
②個人情報に關し、その保護のための対策がとられているか	(4) 3 2 1

〔現状と課題〕

- ①定員・教員資格等の専修学校設置基準については、守るべき項目は遵守できている。
- ②個人情報に関するデータの校外持ち出し厳禁、PCのセキュリティーに關しても問題なく対応している。

点検項目別評価表

10. 自己点検・自己評価・第三者評価

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
①自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	(4) 3 2 1
②自己点検・自己評価結果の公開はしているか	(4) 3 2 1
③第三者機関による学校評価を受ける予定・方針は確立されているか	4 3 2 (1)

〔現状と課題〕

- ①自己点検・自己評価実施で見えた問題点の改善は積極的に取り組んでいる。
- ②自己点検・自己評価結果の公表は、本校のホームページ上及び校内掲示にて実施している。
- ③第三者機関による学校評価は、現状その計画はない。

〔改善のための方策〕

- ③第三者機関による学校評価体制の構築は、学校法人全体での対応システムを構築することが重要である。